

令和元年
9月定例会

No. 146

議会だより ましこ



優勝へ創れ伝説！

限界突破だ！

～益子小学校運動会～

9月定例会審議結果	2～3、8
一般質問	4～7
行政視察	9
常任委員会活動	10～11
議員としての抱負	12～13
町民の声	14

9月定例会

平成30年度決算認定

歳出総額127億8,152万円

令和元年第4回定例会は、9月3日から12日までの10日間の会期で開かれました。

平成30年度一般会計・特別会計の決算認定のほか、補正予算6件、条例3件、人事4件を審議し、原案どおり可決されましたほか、報告1件、陳情審査報告が4件がありました。

町政に対する一般質問では、8名の議員が登壇しました。

平成30年度会計別決算

会計区分	歳入総額	歳出総額	差引残高	
一般会計	84億1,949.8万円	79億2,707.6万円	4億9,242.2万円	
特別会計	国民健康保険	26億2,028.0万円	25億6,417.1万円	5,610.9万円
	後期高齢者医療	1億9,963.7万円	1億9,847.4万円	116.3万円
	介護保険	15億 988.1万円	14億7,007.2万円	3,980.9万円
	公共下水道事業	5億2,991.4万円	5億1,707.3万円	1,284.1万円
	農業集落排水事業	1億 609.0万円	1億 465.2万円	143.8万円
合計	133億8,530.0万円	127億8,151.8万円	6億 378.2万円	

【一般会計の主な目的別歳出】

[民生費] 29億1,886万円（保育所・認定こども園入所措置 7億2,583万円、児童手当 3億5,360万円、障害者自立支援給付 5億2,072万円、医療費助成・給付 1億911万円
子ども子育て支援拠点施設外構工事（ましココハウス）2,489万円 他）

[教育費] 9億9,374万円（小学校衛生設備改修工事（トイレ洋式化）8,430万円、小中学校空調設備設置工事前払金 6,730万円、小中学校防犯カメラ設置工事 389万円他）

[衛生費] 5億7,307万円（芳賀地区広域行政事務組合負担金（ごみ処理、し尿処理）1億2,232万円 他）

[農林水産費] 4億6,331万円（多面的機能支払交付金事業補助金 7,857万円、農道整備 4,633万円 他）

[土木費] 4億5,966万円（道路橋梁新設改良工事 7,476万円、道路橋梁維持管理工事 6,909万円 他）

[商工費] 3億8,086万円（平成館改修事業 8,900万円、土祭実行委員会交付金 2,614万円 他）

令和元年度9月補正予算

会計区分	補正前の額	9月補正額	合計	
一般会計	78億4,559.2万円	3億4,849.0万円	81億9,408.2万円	
特別会計	国民健康保険	26億6,200.0万円	32.4万円	26億6,232.4万円
	後期高齢者医療	2億 500.0万円	116.1万円	2億 616.1万円
	介護保険	15億6,728.0万円	4,796.8万円	16億1,524.8万円
	公共下水道事業	5億1,400.0万円	581.5万円	5億1,981.5万円
	農業集落排水事業	1億 100.0万円	195.6万円	1億 295.6万円
合計	128億9,487.2万円	4億 571.4万円	133億 58.6万円	

【歳出補正予算の主な内容】

- ・地域振興拠点施設整備事業加工施設工事（1億4,385万円）
- ・プレミアム付商品券交付金（1億円）
- ・学校給食センターボイラー更新工事（2,382万円）
- ・こども医療費助成（1,500万円）
- ・ため池機能診断、保全計画策定業務（1,500万円）
- ・町民会館駐車場等整備工事（1,250万円）



補正予算の審議では、地域振興拠点施設整備事業加工施設工事など主要な補正に対しての質疑を行いました。

（全員賛成）

補正予算

一般質問

8名の議員が登壇!

諸田 秀之 議員 4ページ

- ①前沢町有林の有効活用について
- ②道路について
- ③町有地の活用について
- ④観光商工について

小野澤 則子 議員 4ページ

- ①ましこ悠和館の現状と今後について
- ②土祭の現状と今後について
- ③学校教育での食育について

日渡 守 議員 5ページ

- ①学校給食について
- ②ましこ悠和館について
- ③ふるさと納税について

大内 千嘉夫 議員 5ページ

- ①教育予算について
- ②法定外公共物の水路について

大関 保 議員 6ページ

- ①新ましこ未来計画について
- ②交通安全対策について
- ③庁舎のバリアフリーについて
- ④道路整備について

長岡 景介 議員 6ページ

- ①固定資産税の画地補正について
- ②中学生の海外派遣事業について

岩崎 秀樹 議員 7ページ

- ①町政運営について
- ②財政運営について

直井 睦 議員 7ページ

- ①健康・長寿まちづくりの推進について
- ②日本遺産に認定されるための取り組みについて

町ホームページで会議録の閲覧ができます

決算の認定

報告

平成30年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算について代表監査委員から決算審査報告があり、その後9月5日から12日にかけて本会議場で集中審議を行いました。

(全員賛成)

◆決算審査報告書(抜粋)

代表監査委員 大槻 征夫
監査委員 廣田茂十郎

審査にあたっては、8月1日に現地調査を行い、8月2日から翌週9日まで延べ7日間に亘り実施しました。

して関係者の説明を聴取して審査を実施しました。

審査は、決算の計数が正確であるか、予算の執行は議決の趣旨にのっとり適正かつ効果的に施行されているか、関係諸帳簿及び証拠書類を照合

して関係者の説明を聴取して審査を実施しました。平成30年度歳入歳出決算については関係法令に基づいて作成されており、正確なものと認め、予算の執行、収入支出事務及び財産に関する事務についても概ね適正に処理されていると認めました。

●平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により監査委員の意見をつけて次のとおり報告されました。

一般会計・全会計連結とも実質赤字は生じておらず、企業会計でも資金不足は生じていない。実質公債比率は7.0%、将来負担比率は46.8%で早期健全化基準を下回っている。
【監査委員】
指摘すべき事項は特にない。

1.健全化判断比率

指標名	決算に係る比率	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	14.92%
②連結実質赤字比率	—	19.92%
③実質公債費比率	7.0%	25.0 %
④将来負担比率	46.8%	350.0 %

2.資金不足比率

公営企業会計名	決算に係る比率	経営健全化基準
(1)公共下水道事業特別会計	—	20.0%
(2)農業集落排水事業特別会計	—	20.0%

*「—」は黒字のため該当なしを表しています。

- ① 実質赤字比率
一般会計の実質赤字の割合
- ② 連結赤字比率
全ての会計を合わせた時の実質赤字の割合
- ③ 実質公債費比率
一般会計のうち借入金返済額等の割合の3か年平均値
- ④ 将来負担比率
一般会計で、将来負担すべき実質的負担の割合
(1)(2)公営企業に係る会計ごとの資金不足の割合



諸田 秀之 議員

ましこ悠和館の今後について

諸田 ましこ悠和館の今後の見直しについて、建物の寄附等にて改修され、町所有財産となつていると思いますが土地につきましてはどのような状況か伺います。

町長 悠和館の今後の見直しですが、最終的にましこカンパニーの取締役会において、悠和館の運営事業者としてお引き受けを頂く事をご了承頂きました。今後はできるだけ早い時期での開業を目指して協議や手続を進めてまいります。

諸田 運営は益子カンパニーになるということでしょうか。

町長 最終的に益子カンパニーに運営事業者としてお願いする事になります。

諸田 土地の件で今後問題が生じないか相互に町と当事者で早期決着をつけ寄附から購入へならないか、ここが町民の心配なところですが、観光課長、地権者、所有者と境界確認し寄附を受ける予定で交渉中で

す。

諸田 そもそも内覧会があったわけですが、なぜ先に契約が結ばれなかったかが一番問題で疑問です。運営者の辞退理由、費用対効果、今後見直し検討の余地はあるのか。

産業建設部長 辞退の理由は、一般ギヤラリーと宿泊者の共通スペースに伴うセキュリティ、プライバシーの問題で運営が難しいということです。しかしながら悠和館は平和の学習の場ということで、別な価値観を持つてみれば十分建物内の宿泊施設を絡めた運営は可能と思われま

県道益子公園線、城内交差点付近の拡幅工事、一の沢円道寺延伸計画について

諸田 県道益子公園線は大変危険な道であり、早期に改修を望むが、待避線、歩道などを含めた対策、進捗状況について伺います。また一ノ沢円道寺までの延伸計画についても伺います。

町長 県道益子公園線については町としても早期整備実現に向けて県に協力をしてみたいと考えています。一ノ沢・円道寺線(仮称)については、町内の回遊性を高める道路整備を推進する観点から投資効率を見定めながら検討してまいります。



小野澤則子 議員

ましこ悠和館の現状と今後について

小野澤 ましこ悠和館の現状は。

町長 ましこカンパニーに運営を引き受けてもらうので今後協議や手続を進める。

小野澤 国内外からの宿泊客を継続的に来てもらうために何を指しどう対策していくのか。

町長 平和学習の場の機能を最大の価値として運営していくのが安定運営につながる。幅広い年代層の方に滞在していただきたい。

小野澤 ましこカンパニーの他の候補はなかったのか。

産業建設部長 早急にということで町内2、町外4の業者に確認している。

小野澤 指定管理費、光熱水費は前に辞退した委託管理者と同じ額を提示したのか。

産業建設部長 ましこカンパニーと協議をして決めた。

小野澤 ましこ悠和館の運営に持続的に税金を投入するのか。

産業建設部長 運営の在り方によって

は十分収支が取れる判断で決定している。

土祭の現状と今後について

小野澤 土祭に今年度80万円の予算がついた。その根拠は。

町長 土祭実行委員会委員報酬、会議出席旅費、視察研修旅費消耗品など。観光戦略会議で観光ビジョンを策定するがまだ策定できていない。

小野澤 予算縮小を含めた検討をすべきと考えるが、今後の考えは。

町長 地方創生推進交付金もある。地域づくりという観点から次回は開催したい。

学校教育での食育について

小野澤 食育の取り組み、孤食や偏食などの指導は。

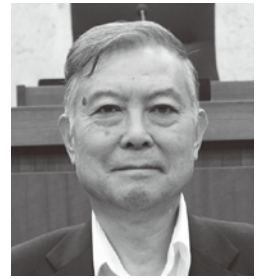
教育長 発達段階に応じた指導、保護者へ講話をしている。

小野澤 食育は総合的な文化であるがトレーにパンを直置きするのを改善する考えはあるのか。

学校教育課長 すぐに改善できる状態ではないが検討課題としたい。

小野澤 家計という観点から給食費の補助を考えるべきと思うが。

町長 検討したことはない。



日渡 守 議員

学校給食を安全・安心で栄養素等充実したものとするため一定の補助をしてはどうか！

日渡 食育の中心である学校給食を安全・安心で、栄養素も充実したものとするため、値上げに相当する部分等、一定の補助をするべきと考えますが、町長の見解は。

町長 近年の物価高騰の影響で安全安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に供給することが困難な状況となっております。現在、町学校給食センター運営委員会において、検討を重ねている所ですが、給食費が値上げとなった場合、炊飯代の改善の余地があると判断していますので、一定の補助も検討していきたいと考えています。

ましこ悠和館の底地について、法的手続きは完了しているのか！

日渡 ましこ悠和館の底地について、無償借用契約済みと理解しており、当初の約束通り土地の境界の確認・分筆・登記・所有権の移

転・名義の変更等を想定していますが、そのような法的手続きはどうかっているのか、再度確認します。

観光商工課長 境界の確認が終わったら寄附という形で登記から全ての手続き等を所有者の方でやって頂くという形になっています。

日渡 (株)サンアメニティの辞退理由は内定以前のリサーチで十分わかることであり、計画が不十分であった感は否めないが、執行部はどのように考えていますか。

町長 (株)サンアメニティについては納得できない部分もあるが、8月末まで町内・県内の事業者に当たり、最終的にましこカンパニーの8月末の経営会議において運営を引き受けるという決断をして頂いたという経緯です。

ふるさと納税、目標額達成のため創意と工夫を發揮しよう！

日渡 ふるさと納税、昨年度は増額を果たしたが、その要因と特徴は何だったのでしょうか。

町長 要因と特色は、イチゴ狩りやクッキー・ジェラート等当初からの返礼品に加え、土鍋や食器類・新幹線型箸置きなどの益子焼や財布・バッグといった手仕事による革製品等、益子ならではの返礼品が好調であった事が挙げられます。

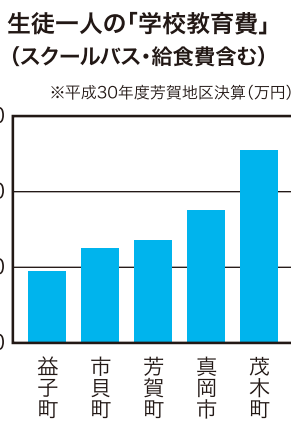


大内千嘉夫 議員

「学校教育費」に重点・優先配分を!!

大内 芳賀地区教育費で、小中生徒一人あたりの「学校教育費」を比較すると益子町が最下位です。どのように考えているか。

教育長 必要な予算は確保出来ている。これまでに校舎の耐震化や衛生設備の改修、空調設備の設置、電子黒板やタブレットの導入等のICT整備も順調に進んでいる。「学校教育費」における経常経費は、平成29年度決算において県内では中位くらいになっている。



校庭に「樹木」を!!

大内 益子小の校庭に樹木がないが、植樹の計画はあるか。

教育長 益子小学校は体育館から昇降口までの通路が全て日陰になっているので植樹の予定はない。ただし、学校からの要請に応じて必要な支援を行っていく。

法定外公共物(水路やため池)からの土手浸食箇所への修繕を!!

大内 法定外公共物からの土手への浸食時の修繕の条例がないが必要では。

町長 土手の浸食の維持補修は規定は定めていない。慣習として地元自治会や地域住民の方々の方々の自助努力で対応を頂いている。

大内 水路(小宅川)による浸食している箇所は、地元住民が杭等で応急策を試みたが、水路の底が固く杭が通らなかつた。国に災害復旧申請等も含め、町で修繕を検討できないか。

建設課長 災害復旧は、大雨等の際に原形に復旧するのが基本。修繕箇所に関しましては、益子町全域の浸食等を受けている部分を確認して、維持修繕が足りない部分の有無の現状を確認して、今後検討を考えていく。

大内 水路からの浸食、継続して修繕対応を求めます。



大関 保 議員

雇用、結婚、子育て支援、移住・定住に対する支援は十分か

大関 新ましこ未来計画実施後4年目に入り、様々な分野で取り組んでいるが、若年層の雇用、結婚並びに出産、子育て支援、移住・定住支援は十分であるか。

町長 起業や雇用支援、結婚子育て支援、医療費助成など様々な取り組みをしているが、財政の許す範囲で積極的に支援する。また、役場周辺土地区画整理事業による環境整備を行っていく。

高齢者の安全対策について

大関 75歳以上の高齢者の自動ブレーキなどがついた先進安全自動車を購入及びペダルふみ間違いつ時加速抑制装置の取り付けに対し、助成金を支給しては。

町長 益子町で75歳以上の高齢者が1355人いる。東京都などの例もあり、栃木県で補助制度を設けて欲しいと要望した。

大関 運転免許自主返納者を増やす為、75歳以上の運転免許自主返納者に対しデマンド交通の助成券支給を一度だけでなく、数年間に増やしてはどうか。

総務課長 各市町でも継続的に支給しているところもあり、それを参考にし、予算を見ながら検討したい。

役場庁舎にエレベーターを！

大関 来年、東京オリンピック、パラリンピックが開かれ、バリアフリーが叫ばれているが、町の拠点である役場庁舎にエレベーターを設置してはどうか。

総務課長 空調、電気、水回りなどの設備関連の改修等を含め、次期総合振興計画とあわせて考えたい。

道路整備について

大関 県道益子公園線の道路整備工事がいよいよ始まるが、陶器市の時などの利便性向上のため、益子公園線に合わせて、一の沢円道寺線(仮称)の道路整備を進めては。

町長 県道益子公園線から町道円道寺線までの平面測量を昨年度実施した。町内の回遊性を高める道路整備を推進する観点から投資効率を見定めながら検討していく。



長岡 景介 議員

固定資産税の画地補正について

長岡 宅地の固定資産評価は、例えば奥行きが間口の4倍以上あるとか、極端な台形になっているとかの変形地は、標準的な宅地より0.9とかの補正をするように国で決めています。益子は全町内でやっていますか。

町長 国の定めた基準に基づき査定をしております。状況類似地区の不正形地の補正については、標準宅地との利用上の制約に差異はないものとして、実質的に補正がない比準割合1.0としてきたところです。

長岡 地価に影響を及ぼさない程度の変形であるかを調べたうえで比準割合1.0としてきたのですか。

税務課長 基本的に状況類似地域の全ての宅地を確認してはいません。

長岡 調査しないで全てに比準割合1.0をかけていることの法的根拠はどこですか。

税務課長 法的根拠には至りませんが、固定資産評価の研究センター

の1委員が問題ないと意見していません。それ以前から益子は比準割合1.0でやっており、そのままになってしまっていた状況です。

長岡 調べれば明らかに補正レベルの不正形地はあるはずで、町民の不利益を放置して来たことにならないか。

税務課長 その可能性は認識しており、今後の考え方として、地籍調査が終わるまでの間も、図上等で確認して補正を入れていくことも考慮しています。

長岡 私にこの問題を教えて下さった町民の方への回答で、昭和39年の現行法施行以来補正していないという事なので非常にまずい。他市町に劣っていると気が付いたのでからすぐに始めていただききたい。

税務課長 補正適用については後れを取っているとになると考えており、今後適切に対応したいと考えています。

町長 町民との信頼が大切なので、点検して是正すべきところがあれば是正し、信頼関係を損なわない行政運営をさせていただきたい。





岩崎 秀樹 議員

財政運営について

岩崎 新公会計制度の理解度はどのあたりまで進んでいるのか。

町長 町の財政状況を示す財務4表は一定程度の理解は進んでいる。今後も財務4表の意義を説明できる職員を育成していく。

岩崎 施設毎のライフサイクルコスト(LCC)の計算は。

町長 既存の施設のLCCの大きな割合を占めるランニングコストについて、今後の縮減が図れるよう施設の修繕、維持管理費用を毎年予算化している。今後施設を整備するに当りLCCの算定は必要と考えている。

岩崎 施設毎のバランスシート(B/S)の作成の必要性は。

町長 B/Sは老朽化度合や現在価値、整備の財源のバランス等を把握でき、更に施設の費用対効果を図る目安になる。しかし町の施設は運営形態が様々なので、施設毎のB/S作成の必要性は今後検証していく。

岩崎 ましこカンパニー(以

後益カン)の増収減益の理由は。

町長 主な要因は当初の計画を上回る入場者が記録された事。とりわけ加工商品の販売が好調であった。一方、当期純利益は約1400万で前期比、44%の減益。これは租税公課、人件費等の増加を主な要因。

岩崎 以前は益カンの総勘定元帳が閲覧できたが、今は閲覧できなくなりました。その理由は。

町長 前回閲覧させたのが間違っていた。委員会等で質問があれば会社としても誠意をもって対応する。

岩崎 町が5000万円、率にして83.3%出資しており、町の決算とも連結している訳だから、もっと積極的な情報公開が必要では。

町長 結果責任は問うけれども、運営については経営者、スタッフに任ているので、ご理解頂きたい。

岩崎 今後駐車場の拡大、新しい加工所の建設とかがあがるが、指定管理料の増加はあるのか。

町長 今後の検討課題。

岩崎 昨日突然益カンが悠和館の指定管理業務請負の答弁を聞いたが、売上の3%の家賃で賃貸する額の変更はないのか。

町長 家賃等の変更はない。

岩崎 町は3%の家賃をもらい、後は益カンで全てやっていくのか。

観光商工課長 議員のおっしゃる通り。



直井 睦 議員

健康長寿まちづくりの推進について

直井 健康増進策を推進するためには、各世代に適した事業展開が有効であると考えます。また、高齢者への取り組みを充実させ、健康寿命を延伸させる対策が重要ですが、どのように取り組んでいますか。

町長 健康増進計画を64歳までの方、高齢者総合福祉計画を65歳以上の方を対象に実施しています。事業にあたっては、生活習慣の改善に重点を置き、広く参加を促し、参加者の年齢、体力に合った事業展開を心がけています。

高齢者の方に対しても運動機能に着目し、健康教室や介護予防教室、ふれあいサロンへの参加を推進しており、生きがいづくりも重要であるため、いきいきクラブへの加入促進等も引き続き行っていきます。

直井 国民健康保険事業計画の推進は、医療費抑制に有効であり、財政面からも重要ですがどのように推進していますか。

町長 本町の傾向として生活習慣病の増加が見られることから、特定健診や保健指導を重点的に実施するとともに、重複・頻回受診、重複服薬の指導等随時行っています。

※健康増進策として、健康ポイント制度の効果について、ウォーキング・サイクリングに適したインフラ整備についても質問をいたしました。

日本遺産登録事業について

直井 日本遺産に登録される最終年度を迎え、今年度の日本遺産登録申請に対し、取り組みの方針はどのようなになっていますか。

教育長 今年度は、陶器で深いつながりのある笠間市と連携してリアル型で取り組みます。申請書作成業務については、本町が中心となって申請業務を行います。

直井 過去3回の申請については、認定に至りませんでした。申請事業を無駄にせず歴史文化事業に活用していただきたい。また、住民を交え両市町の交流事業や文化フオーラム等の考えはありますか。

町長 登録最終年度を迎え、今回笠間市と連携するにあたり、行政のみに限らず住民を巻き込み、お互いが喜び合える結果が残せるよう努力します。

条例

●益子町森林環境整備促進基金条例の制定
(全員賛成)

国の法律制定に伴い、益子町における木材利用の促進や森林整備などに必要な事業を実施するための財源として、国から譲与を受ける森林譲与税を積み立てるため、基金を設置するものです。

●益子町印鑑条例の一部改正
(全員賛成)

国の法律改正に合わせた改正で、氏の変更があった者に対し、住民票に記載された旧氏の印鑑登録や印鑑登録原票及び印鑑登録証明書の氏名欄に旧氏の記載を可能とするなどの追加などです。

●益子町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
(全員賛成)

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴う改正です。

人事

●益子町教育委員会教育長の任命の同意
(全員賛成)

令和元年9月30日付けをもって任期が満了する、茂木町大字上菅又 岡良一郎氏の後任人事で引き続き同氏の任命に同意しました。

●益子町教育委員会委員の任命の同意
(全員賛成)

令和元年9月30日付けをもって任期が満了する、益子町大字前沢 高橋彰氏の後任人事で引き続き同氏の任命に同意しました。

●益子町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意
(全員賛成)

令和元年10月20日付けをもって任期満了する、益子町大字益子 中田均氏の後任人事で、益子町大字益子 大塚隆彦氏の選任に同意しました。

●人権擁護委員候補者の推薦
(全員賛成)

令和元年12月31日付けをもって任期満了する、

益子町大字七井 玉田良雄氏の後任人事で引き続き同氏の選任に同意しました。
(全員賛成)

令和元年12月31日付けをもって任期満了する、益子町大字益子 日渡君枝氏の後任人事で引き続き同氏の選任に同意しました。



陳情

●辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情
(平成31年陳情第3号)

◇審議結果【不採択】
(全員賛成)

●辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情
(令和元年陳情第1号)

◇審議結果【不採択】
(全員賛成)

●日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める陳情
(令和元年陳情第2号)

◇陳情者
埼玉県川越市千波町
一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム
理事長 仲村 覚

◇趣旨
国連の誤った認識と勧告の撤回を求める意見書を国に提出すること。

◇審議結果【継続調査】
(全員賛成)

●米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情
(令和元年陳情第3号)

◇陳情者
沖縄県宜野湾市真栄原
宜野湾市民の安全な生活を守る会
会長 平安座 唯雄

◇趣旨
宜野湾市民の安全な生活を守るため、米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書を国に提出すること。

◇審議結果【継続調査】
(全員賛成)



議会だより145号の2ページの表の表において表記が一部間違っております。
「会計別決算」は「補正予算」、「歳入総額」は「補正前の額」、「歳出総額」は「6月補正予算額」、「差引残高」は「合計」です。訂正してお詫び申し上げます。

議会行政視察研修報告

◆研修日
令和元年10月1・2日

長野県
飯綱町

【議会改革】

総務産業常任委員会

飯綱町議会では、議会独自の学習会と自由討議を重ね、目指す議会像、改革課題の抽出を行っている。追認機関からの脱却を図るために町長等と善政競争を進め、議会への住民参加を広げ、住民福祉の向上を目指すことを議会像としている。議会改革の旗印として、議会サポーター制度による政策提言、議会広報紙モニター採用による多様な意見要望等の集積をはじめ住民と一体となった議会運営となっており、住民の声を反映させ、住民から信頼され、住民に寄



り添う議会の重要性が伺われた。同時に議会基本条例に基づき、年間活動計画を作成し、実行されており、議会の果たす役割、責任が全議員に共有される仕組みが構築されている。飯綱町議会が実行している取り組みは、議会運営に参加協力された住民のうち5名が議員となり、幾多の新人議員研修を経て議会の継続性を保ち、即戦力として活躍している事実から、全国の方議会が抱える議員のなり手不足解消、住民から信頼を得るための課題解決に向けてきわめて有効である。

益子町議会においても大いに参考となり精査の上、取り組む事案である。

長野県
塩尻市

【複合型図書館】

教育厚生常任委員会

塩尻市立図書館は1966年に附属図書室から出発し、2010年に図書館を核とした複合施設である市民交流センター「えんぱーく」として開館し、現在に至っている。えんぱーくの5つの重点分野は、図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援であり、各々が個々に機能を発揮すると同時に有機的に連携し相乗効果を生み出す融合事業を展開するとして、まさに複合施設に相応しい役割を果たしている。

令和元年度 塩尻市立図書館当初予算 (図書館費)

(単位：千円)

	30年度	元年度	増減
図書費	34,840	30,060	△4,780
新聞雑誌費	5,508	5,849	341
視聴覚資料費	2,160	1,940	△220
電算機器使用料	17,116	17,098	△18
人件費	162,534	177,519	14,985
古田晃記念館諸経費	2,170	2,213	40
その他経費	20,210	20,893	683
計	244,541	255,572	11,031

出典：塩尻市立図書館「図書館概要」

館内視察では、利用者の利便性に重点を置いた工夫が所々見られた。地域の特産品であるワインに関しては1つのコーナーが設けられており、ワインを陳列するほか、その周辺を数多くのワイン関連の書籍で取り囲んであった。本町においても、早急に地域性を活かした図書や資料の収集に取り組み必要性が感じられた。

また、子育て支援センター、ICTルーム、音楽練習室、食育室、市民サロン等の各々部屋はガラス張り、中の活動を「見える化」しているとのことであり、とても興味を魅かれた。



ワイン関連書籍コーナー

視察受け入れ

- 7月1日宮城県亘理町議会 議会運営委員会 9名
「議会活性化の取り組みについて」
- 7月25日静岡県函南町議会 総務建設委員会 8名
「有害鳥獣対策について」
- 8月26日栃木県市貝町議会 議員 12名
「議会基本条例の制定の経緯について」
- 10月16日新潟県阿賀野市議会 産業建設常任委員会 5名
「道の駅の運営について」



総務産業
常任委員会

8項目

- 観光施策
- 土祭
- 国際工芸交流事業
- 土地改良事業
- ランドスケープデザイン
- 役場周辺土地区画整理事業
- 公共下水道事業ストック
マネジメント
- 今後の町道整備

田野、益子、七井の3地区で実施予定である。本年度は、実行委員会の体制整備、委員の選任、日程の検討等を行う。官民連携事業であるが次回からは、より民間主体で実施、開催する予定である。

【改善意見】
新たに有料での周遊ツアーの企画実施、ましこ世間遺産の活用も検討されたい。今後職員の負担軽減を鑑み、予算範囲内での作業等の外注、さらに実行委員の報償も検討すべきである。

り、若手作家の活動の刺激となるようワークショップ、講演会等への積極的参加を推進すべきである。

●土地改良事業

担い手育成として、各地区において集落営農組合が組織されているが、今後の方向性としては法人化を目指して行くが、地域の特性を鑑み、地域ごと一律で推進するわけではない。圃場後のビジョンとして、担い手の育成、販路拡大、町内総生産の向上を図る。

【改善意見】

担い手育成として、就労セミナーの充実、外国人研修生を含む労働者の受け入れ体制の整備拡充を図りたい。また、地籍、境界等測量については、建設課とさらに連携を図り、効率的に進められたい。

●ランドスケープデザイン

町ではランドスケープデザインを「将来を見据えた公共事業の在り方や未来予想図としての風景デザイン」として捉えている。平成30年度、令和元年度において小嶋氏に業

務委託し、ランドスケープデザイン策定に取り組んでいる。

【改善意見】

今後、太陽光発電設備設置条例や景観条例の策定を見据えたランドスケープ計画の推進を図る必要がある。また、自然災害を考慮した安全安心のまちづくりも視野に取り組まれない。

●役場周辺土地区画整理事業

令和元年5月に組合設立準備会を開催し、令和2年4月に組合施工により整備が進められるよう取り組んでいる。区域面積は約10・5ha、施工期間は令和2年から8年の工事期間でその後5年間の精算を考えている。

【改善意見】

この区画はハザードマップ上、浸水想定区域内に位置しており、造成に際してかさ上げ等の対応を図り、良好な居住空間となるよう努められたい。

●公共下水道事業ストックマネジメント

計画は、浄化センター、管

施設等を一体的に捉え、修繕・改築等費用の縮減を目的としており、効果は年間9千2百万円を見込んでいる。

【改善意見】

下水道施設は止めることができないので現状1機のみで汚泥脱水機の早期増設を望む。



益子浄化センター 現地調査の様子

●今後の町道整備

現在町道は404路線、総距離295kmとなっている。基本検討項目に着目し、優先順位を明確にして整備している。

【改善意見】

限りある財源での整備であり、官民協働整備の強化、公平性のある整備計画を望む。

●観光施策

本年度観光戦略会議を設置し、年度内事業として、顧客データのマーケティングを主体とした地域ポイントカードシステムの導入を予定。

【改善意見】

地域ポイント事業、ブランド戦略等、観光戦略会議の担う役割の比重が増大しているため、今後の取り組みに注視する。

●土祭

次回の開催は2021年に、

議会定例会の閉会中の継続調査について審議しました！～7月・8月・9月実施分～

教育厚生
常任委員会

8項目

- 図書館基本構想
- まちこ世間遺産
- 個人番号カード
- 町有林の維持管理及びイノシシ対策
- 学校における働き方改革
- 包括的支援事業
- ふれあいサロン
- 自然エネルギー

●図書館基本構想

図書館基本構想については検討委員会において今年1月から協議を実施している。基本コンセプトとしては、従来型の図書館単体ではなく、町民交流施設としての複合施設を想定している。

【改善意見】

基本方針の取組内容、キーワードが多岐にわたりすぎていて、焦点を絞る必要がある。優先順位を明確にしたり、場合によっては取捨選択をしたりしていくべきである。

●まちこ世間遺産

認定件数は令和元年7月27日現在46件である。世間遺産の活用としてはNHKテレビでの放送、道の駅でのパネル展示、町民会館資料展示室での展示によるPRである。また町ホームページにおいて動画で紹介している。

【改善意見】

世間遺産を一括して紹介する冊子等で周知が図れるのではないか。

●個人番号カード

カード導入による行政としての利便性の向上としては、年金・税金に対しての所得状況の把握、社会保障における必要書類の省略化ができると思われる。セキュリティ面に関しては、ICチップは専用の機械がないと読み込むことができないことや、暗証番号登録があるので確保されている。

【改善意見】

カードの交付率を高めるためには、利便性の向上が必要である。今後カードのできることにについて普及啓発の促進に努めるべきである。

●町有林の維持管理及びイノシシ対策

高館山の町有林の中の遊歩道の整備及び環境整備については、希少な動植物に支障が出ない程度に手を加えていく方針である。イノシシの出没範囲は町の東半分の間部、特に大羽地区が多く、最近石並・生田目地区でも多くなっている。

【改善意見】

今後施設を建設するときは、町内産の材木を利用すべきであり、今から検討しておく必要がある。

●学校における働き方改革

「学校における働き方改革推進プラン」の中で、プランの目標として、月の時間外勤務の上限45時間（1日あたり2時間15分）を指しつつ、2021年度までに月の時間外勤務が80時間を超える教員を0にする取り組みをしている。

【改善意見】

中学校では部活動の外部指導者の導入を漸次増加させて、仕事量の軽減を検証すべきである。また、勤務時間数の正常化を推進する中で一部の教員に負担が偏ることのないよう注意する必要がある。

●包括的支援事業

認知症に対する取り組みの1つとして物忘れ予防教室を実施。8回シリーズとなっており、脳とからだの機能を効果的に向上させるコグニサイ

ズも行っていい。

【改善意見】

成年後見制度について、認知症の人の増加が予想されるため、整備の充実が望まれる。

●ふれあいサロン

現在5ヶ所開設しているが、10月から七井地区で1ヶ所開設予定。町から開設準備費及び運営費が補助される。

【改善意見】

高齢者が増える中、サロンの重要性の趣旨を周知・徹底させ、漸次増加の方向に持っていく必要がある。

●自然エネルギーの利用状況

住宅用太陽光発電システム設置費、太陽熱利用システム設置費及び木質バイオマストープ設置費それぞれに対する補助のほか、今年度から定置型蓄電池設置費に対しても補助を行っている。

【改善意見】

今後、災害時に備えてV2H事業に対する研究及びエネルギー自給率向上のためのマイクロ発電事業等の研究を推進する必要がある。

※V2H…電気自動車(EV)やプラグインハイブリット車(PHV)の車載電池と太陽光発電、住宅を結ぶシステム

「町民にわかりやすい議会」 「信頼される議会」を目指して

議会活性化検討 委員会設立！

4月の町議選無投票をうけて新人も含めて年度の議員各人の思いが見えないとのこと指摘が多く、今般全議員の抱負を載せる運びとなりました。合わせて議会活性化検討委員会を立ち上げ、議会がより町民に必要とされ、役割を果たせるようになるための具体策を検討してまいります。

町民のみなさんとの対話を通して、すぐに取り組めることはいち早く始めて、町民のみなさんにも見える成果を出せるようにしますので、皆様のご協力をお願いいたします。



グループワーク発表の様子

1番 関 絹江

女性の目線で住みよい町
○子育て支援充実
少子化・人口減少対策として若い人が集まるよう環境を整えるために小児科医療機関誘致や高校までの医療費無償化。
○高齢者福祉政策を充実
介護福祉サービスの基盤整備を進め低料金で入れる町営の介護施設設置を目指します
○税金の有効活用
予算を見直してムダを削減。町民の声を行政に届けられるよう努力してまいります。

2番 諸田 秀之

令和新时代。いま、本当に町民目線での意見や要望が町政に反映出来ているでしょうか。
議員として政策毎に判断し大切な血税を守り、地域格差や、財政基盤の安定、皆様が公平に行政サービスが受けられるようにします。また身近な危険をなくし安心安全な町づくりのために行動力と実行力をもって、皆様の声を行政に訴え全力で取り込んでまいります。

3番 大内千嘉夫

住んで良かった町、住みたい町益子町!!を目標に
『着眼大局（町民の幸せ）着手小局（諸施策）』で活動していきます。重点活動は、
①財源の確保。企業の誘致と観光客の誘客です。
②少子化対策。児童手当の充実と、婚活の一本化です。
③健康寿命の延伸。運動環境整備と、心の健康です。
研鑽して、皆様の声を行政に反映し目標を達成したいと考えています。

4番 星野 壽男

現在益子町は、少子高齢化、人口減少、雇用などいろいろな対策を講じなければならぬ時期にきています。また、図書館建設、役場周辺区画整備、下水道整備など、これから財政にかかる負担は大になります。行政と共に議会としても健全なる予算の運営を実現しなければなりません。多様な面で議決機関として重責であります。自分を始め議員の質を高め住みよい益子町になる様努めてまいります。

5番 大関 保

今年3月に37年間お世話になった役場を定年退職し、現在議員の立場にあります。今までの土木や建築の知識・経験を生かし、災害に強い生活環境や道路、図書館等の建設にも役立てたい。また、高齢者を支える若年層を増やし、町を活性化するため、子育て世代が住みやすく働きやすい環境の実現。企業誘致、起業支援及び結婚・出産子育て、移住・定住、人材育成、健康維持に対し、力を注いでいきたいと思っております。

6番 小野澤則子

子育て、義父母の介護を経て、福祉施策によって町民の生活は変わってくると実感しました。ボランティアやPTA役員、民生委員の経験から「もっと子供を大切に、もっと高齢者に優しい町に」と考えています。女性が地位のある職の1/3以上を占めることと人口減少問題は重要です。子育てや介護の負担を減らせば女性は社会で活躍できます。頑張る女性の味方でありたいです。

7番 直井 睦

『ともに創るまちづくり』
政策立案能力の向上に努め、常に重要性・必要性のある町行政課題を抽出できるように、皆様のご意見を伺い、課題を提起し、魅力あるまちづくりのため政策提言を続けます。

『さらなる議会改革』
議員間討議の場を拡充し、真の言論の府を目指します。議会機能の責任を果たし、皆様が更に議会と関わりが持てるよう、開かれた議会となるために率先して行動します。

8番 日渡 守

地方には少子高齢化に伴う人口減少と地球温暖化により生ずる災害の発生、その他数多くの課題があります。そのような中で地域のひとと課題解決に取り組みとともに、地域の人々の意見や主張に謙虚に耳を傾け、町政や議会に届けたいと願っています。現在幸いな事に多くの団体・組織の企画・運営に携わっていますので、多くの町民の方からの声を勇気と誇りを持って届けようと肝に銘じているところです。

9番 小島 久之

町議選が終わり、もう半年が過ぎました。残りの三年半を初心に戻り頑張つて参りたいと考えます。「町民の声をしっかりと聞く。迅速に行動する。成果が出るまで取り組む。」をモットーとしています。

この姿勢は絶対に忘れることなく行動していきます。町民の暮らしが良くなるように良く聞き、良く動き、問題解決できるように行動します。どんな事でも諦めず真つ向から取り組んでまいります。

10番 岩崎 秀樹

益子の将来を見据え、刻々と進んでいる種々多様な社会の変化に対応するには何がポイントかを常に考え、持続可能な町づくりを目指し、町民の皆様の福祉の増進に努めます。重点事項として考えておられますのは次世代を担う人材の育成、産業振興、健全な財政運営。この三点を柱として共に皆様との対話を通して皆様の負託にお答えすべく邁進し、微力ながら町の更なる発展に寄与してまいります。

11番 高橋 家光

これからの益子町には、図書館建設、役所周辺整備、少子高齢化、人口減少、町内総生産の低迷等、取り巻く課題はさまざままで複雑化しております。

このような中、議会の果たす役割は益々重要であり健全な財政運営や町民福祉の向上を図り、町民の声を反映した「安全で安心」して暮らせる町づくりを推進してまいります。
【行動規範】現在、未来に対し責任のある発言、行動、提言をします。

12番 加藤 芳男

日頃より温かいご支援を賜り感謝申し上げます。町議三期を向えるに当たり地域に活力、町民に希望をモットーに「大衆と共に」の立党精神のもと、公明党は小さな声を聴く活動をしています。日の当たらない人達に目を向け、生活現場の切実な願いを聴いて具体化していくことが議員の使命と受け止めています。益子町の発展と住みやすい街、誇れる益子を目指し、皆様の声を町政に届けてまいります。

13番 長岡 景介

二年の空白はありますが、4期目の古参議員の一人として議会改革に取り組んで参ります。信じ頼られる力を持った議会を目指します。議員活動としては、町民の今の問題を早く改善するための行動を第一とします。変わらないと諦めている皆さまの考えを変えられる様に努力します。お気づきの事、ご意見などいつでもご連絡下さい。入念に調べて、より良き方向を導き出します。お力をお貸し下さい。

14番 廣田茂十郎

二元代表制としての議会のあり方、「住民自治の根幹」である議会のあるべき姿を考え、一歩ずつではありますが実行してきたつもりです。
「議会改革が目的ではない。住民福祉の向上につながる必要がある」という信念に基づき、これからも議会力アップに力を注いでいきたいと思えます。私自身の姿勢は、人が生きる意義、真の人生の幸せとは何か。そんな視点で、議会活動に取り組んでいきます。

15番 高橋 正則

現在の益子町には様々な課題がありますが、私が特に取り組みたいのは「人口減少対応」であり、これは雇用対策、子育て対策、高齢者・障害者対策など町一丸となつて総合的に取り組んでいく必要があります。全国的な課題でもあります。他地域での成功事例や失敗事例もよく検討して、益子独自の取り組みを作り上げていくことが大事だと考えます。そのために頑張つていく所存です。

16番 小島 富子

多くの町民の皆様方に励ましの言葉を頂きながら三期十二年「益子の為」の思いで働いてくることができました。心より厚く御礼申し上げます。一介の農村女性から町議となりおかげ様で四期目に入り責任を強く感じています。
元氣な益子（地域）に向けこれまでの「経験」や「女性の視点」を生かし安心して、住むことができ、子育てができ、老後を過ごせる、よいうな住民福祉の増進に注力して参ります。

町民の声

床井 秀夫さん



ましこの未来ある
こどもたちへ、地域づくりを！

1948年益子町生まれ（団塊の世代）家族構成は6人。趣味は音楽鑑賞、物作り。

現在、亀岡八幡宮 里山の会代表として、里山づくりに励んでいます。

ぎを与え、人を育て、益子の地域作りにもつながり自然の風景が保たれることだと思えます。


私は悔いの無い残りの人生を動けるまでと目標に思いを深めています。そのためにはボランティア精神をもって整備作業に精を出していますが、継続する事は大変なところがあります。

私は定年退職後生まれ育ったこの地区で里山作りに精を出しています。今できる人が出来る事を、里山作りは地域の自然の風景を守りながら、未来ある子供たちに長い時間を超え胸を張って、出身地が言える大人になってもらいたいと思います。

里山作りは無限に夢や希望を養える可能性を持った地域の宝だと思えます。私は団塊の世代で、子供の頃は山川が綺麗だったようにも思い起こされます。私達が里山作りを目標にしている事は先人たちが眠る古墳群、その時代から変わらぬ風景を守ること。そして神社があり、この地で生

まれ育った私は、亀岡八幡宮里山の会、会員と共に神聖なこの里山で先人達を思う時、敬う気持ちが芽生えて来ました。そして里山作りの目標を掲げ、くじけない、諦めない、やり遂げる、作業終了後には右手を掲げ頑張るぞーの合い言葉で記念写真をパチリ。私を含め現在25名の会員と共に六世紀前からの風景そして先人達がこの地域を守りつつ、見たであろう自然の風景、亀岡八幡宮の里山、県指定の文化財でもある小宅古墳群、変わらぬ風景を保ちながら整備作業を進めていきたいと思えます。


小宅古墳群、里山は春に菜の花畑と桜のコラボレーションは安らぎと感動も感じさせてくれます。九月の彼岸入りから十月初め頃までの彼岸花開花、毎年町内の小学六年生四校から校外学習、地域活動への奉仕作業参加、地域の歴史や文化を学ぶ絶好の場所であり、子供達は里山に来て目を輝かせています。年々町内外、県外の方が来るたびにビックリの連続です。人も町の経済も豊かになりますようお願い、里山の会員と共に未来を見つめ里山作りに励んで行きたいと思えます。

 **あなたも議会を傍聴しませんか**

次回 12月3日(火) 開会予定


本会議当日、3階議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

また、9月から議場カメラが導入され1階ホールのモニターで議会の様子を放映しています。



議場カメラ放映スタート

9月議会から役場1階ホールでの放映が始まりました。ぜひご覧ください。



広報広聴
常任委員会

出張議会意見交換会のお知らせ

自治会や育成会、各種団体などで、「議会報告会や議員との意見交換会をやりたい」という方のところに議員が出向いて議会のしくみや町政の現状についてお話しします。

ご希望がありましたら、議会議員や議会事務局までご連絡ください。開催日時等詳しい内容についてはご相談ください。